

人権課題を身近な問題と捉え理解を深めていくことにより、一人ひとりに何ができるかを考え、行動のきっかけとします。

【会場】江東区役所7階 71・72会議室（江東区東陽4-11-28）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、延期または中止となる場合があります。

第1回 なぜ救出できない拉致被害者

～北朝鮮による拉致問題を考える～

【日時】1月18日（水） 午後6時30分～8時00分

【講師】村尾 建児さん（特定失踪者問題調査会 幹事長）

民間企業（広告関連）退社後、拉致被害者家族である増元照明氏の個人事務所（当時参議院議員候補）勤務を経て、平成16年、特定失踪者問題調査会理事に就任。広報担当、家族支援をする他、北朝鮮向け短波放送「しおかぜ」を立ち上げから担当し、番組制作、妨害電波対策など全ての運用に従事する。また、拉致問題を次の世代へ伝える活動として、アニメや音楽を使った啓発に取り組む他、労働組合や運動団体の青年層を中心に全国で講演を実施。

平成22年3月同会専務理事。平成29年9月同会副代表兼事務局長に就任。令和3年1月29日同会幹事長に就任。戦略情報研究所（株）専務取締役。月刊誌「正論」などに複数寄稿。



第2回 「見た目」の差別

～「見た目問題」から考える、ルッキズムの行く末～

【日時】1月19日（木） 午後6時30分～8時00分

【講師】外川 浩子さん（NPO法人マイフェイス・マイスタイル代表）

NPO法人マイフェイス・マイスタイル（MFMS）代表。

東京都墨田区生まれ。20代の頃につきあった男性の顔に大きな火傷の痕があったことがきっかけで、見た目の問題に関心をもつようになる。一緒に街を歩いているときも、電車に乗っているときも、たくさんの人たちの視線を感じ、「人って、こんなに無遠慮に見てくるんだ！？」という驚きと、見られ続けるストレスにショックを受ける。

2006年、実弟の外川正行とマイフェイス・マイスタイルを設立。見た目に目立つ症状をもつ人たちがぶつかる困難を「見た目問題」と名づけ、交流会や講演などを通して問題解決をめざし、「人生は、見た目ではなく、人と人のつながりで決まる」と伝え続けている。



- 対象：区内在住・在勤・在学の方20名
- 一時保育（対象：1才6ヶ月以上～就学前。各開催日の2週間前までに要予約。定員10名程度）
- 手話通訳・要約筆記：各開催日の2週間前までに要予約
- 申込方法：次の項目を電話、窓口、ホームページ、メール、FAXで ①お名前（ふりがな） ②住所 ③電話番号
④希望する回⑤保育の希望⑥手話通訳又は要約筆記の希望を人権推進課へご連絡ください
- 申込期限：各講座の前日まで

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にご協力ください。

- ①咳や発熱等の症状がみられる場合は受講をご遠慮ください。（状況によっては受講をお断りする場合があります。）
- ②受講の際は、マスクの着用・咳エチケットの励行など感染症予防対策にご協力下さい。③会場では、扉や窓等を開放し自然換気を行います。空調効果が損なわれることがありますので、暑さ・寒さ対策を十分にお願います。
- ④新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、講座が延期または中止となる場合があります。

◆江東区役所◆

江東区東陽4-11-28

- ◎東京メトロ東西線
「東陽町駅」1出口 徒歩5分
- ◎都バス 東22系統 錦糸町駅⇔東京駅北口
「江東区役所前」下車 徒歩1分
- ◎都バス 門21系統 東大島駅⇔門前仲町
「江東区役所前」下車 徒歩1分
- ◎都バス 都07系統 錦糸町駅⇔門前仲町
「東陽町駅」下車5分

※なるべく交通機関をご利用ください。



FAX送信 03-3647-9556

参加希望 ※希望する回に ○印をつけてくだ さい		1/18 (水) なぜ救出できない拉致被害者
		1/19 (木) 「見た目」の差別
名前 (ふりがな)		
住所	〒	
電話番号		FAX番号
保育希望	あり・なし ※ありの場合は、 右欄を記入	①こどもの氏名(ふりがな) ②生年月日：平成 年 月 日 ③性別：男 女 ④さくらんぼ保育室の利用経験：あり・なし
手話通訳又は 要約筆記	手話通訳・要約筆記 ※希望するものに○印をご記入ください。	

☆本講座の録音・録画・ライブ配信・写真撮影は、禁止させていただきます。

■お問合せ・申込先：江東区人権推進課

〒135-8383江東区東陽4-11-28

電話：03-3647-1164（直通） FAX：03-3647-9556

Eメール：jinkensuishin@city.koto.lg.jp ホームページへはこちらからアクセスできます→

